

東通原子力発電所1号炉審査資料	
資料番号	A1-CA-0107
提出年月日	2022年6月16日

東通原子力発電所 基準地震動, 基準津波の検討状況及び今後の工程について

2022年6月16日
東北電力株式会社

基準地震動, 基準津波の検討状況について

■基準地震動

- 2022年4月11日の第1039回審査会合で、「内陸地殻内地震」が概ね了承され、「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」は、概ね審査済み。
- 「震源を特定せず策定する地震動」は、上記会合でのコメントを踏まえ、標準応答スペクトルの検討を行い、6月下旬に説明を実施予定。
 - 標準応答スペクトルの模擬地震波について、設置変更許可申請補正後における先行プラントの審査実績を踏まえ、地震規模をM6.9からM7.0に見直して作成し、解放基盤表面における地震動の検討を実施。
 - 複数手法による精度確認を目的に、一様乱数位相に基づく模擬地震波に加え、実観測記録の位相を用いた模擬地震波による検討を追加実施。
- また、3月16日福島県沖の地震について、海洋プレート内地震として東北地方で最大規模となる地震であったことから、基本ケースの地震規模をM7.3からM7.4へ見直した断層モデルを設定し、今後、審査頂く予定。

■基準津波

- 2022年1月28日の第1027回審査会合における以下のコメントを踏まえた検討・解析を実施しており、7月上旬の説明を目標に対応中。
 - 地震以外に起因する津波のうち日高舟状海盆の海底地すべりの評価について、発電所と浦河沖の海底地すべりの間に位置する表層付近の海底地すべり地形が発電所に及ぼす影響を確認するため、地すべり地形の詳細判読作業、その後、復元地形の作成・津波解析を実施。
 - 連動型地震と日高舟状海盆の海底地すべりの組合せ評価について、従前、補機冷却海水系取水口前面を対象に組合せ時間を算定していたことに対し、遡上域及び取水口前面を追加。また、組合せ時間を変化させたパラメータスタディを実施。
 - 水位下降側の評価について、水位下降量に着目した整理に加え、補機冷却海水系取水口敷高を下回る継続時間による整理を追加。

基準地震動, 基準津波の9月までの工程について

(2022年6月時点)

審査項目	審査状況	2022年														
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月			9月		
								上	中	下	上	中	下	上	中	下
地震動	震源を特定して策定する地震動			▼ヒアリング(2/28) ▼ヒアリング(3/24) ▼審査会合(4/11)												
	震源を特定せず策定する地震動				標準応答スペクトル波解析 []			▼ヒアリング	▼審査会合							
	基準地震動										「震源を特定せず策定する地震動」の審査結果を踏まえ、設定。					
津波	地震に起因する津波			▼審査会合(1/28)												
	地震以外に起因する津波			▼審査会合(1/28) 地すべり地形判読			復元地形作成			▼ヒアリング	▼審査会合					
	地震に起因する津波と地震以外に起因する津波の組合せ			▼審査会合(1/28)	津波解析					▼ヒアリング	▼審査会合					
	基準津波													▼ヒアリング 審査会合▼		